

研究分野		授業科目名				科目責任者	
生理系分野		神経病態生理学Ⅱ 特論Ⅱ				八木田 佳樹	
開講年次		共通／専攻／選択		単位数			
1,2		選択		2			
目的							
脳卒中の病態や脳循環代謝の基礎を理解するために、当該分野の未解決課題（以下（１）～（５））について取り組む。 （１）脳血管内皮機能障害の分子機序 （２）脳虚血再灌流障害の有効な治療法 （３）rt-PA の副作用軽減法の開発 （４）脳卒中急性期の最適な血圧管理 （５）原因不明脳梗塞のマネージメント							
授業到達目標							
課題に関連した文献を検索し、内容についてのレジメを作成、他の研究メンバーに解説、質疑応答を行うことができる。また、他のメンバーの解説に対して質疑を行うことができる。							
授業計画							
回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	毎週	火	12:00-13:00	八木田 佳樹	講義	[抄読会]	抄読会，リサーチミーティングで課題についての発表討論を行う。 [場所:本館棟 7階脳卒中医学実験室]
評価方法							
（１）１年間※で、講義は 30 時間出席し、科目責任者から履修手帳に出席印をもらい、提出する。 （２）１年間※で、論文紹介または症例発表を 2 回行い、その要約 2 編を提出する。 ただし、特論Ⅰ・Ⅲで紹介したものと異なる論文（症例）であること。 ※ 2 月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。33 頁：単位履修方法参照。							
課題（レポート等）に対するフィードバック							
発表時に、指導・助言を行う。							
教科書							
ISBN-9784787826169, 必携脳卒中ハンドブック（改訂第 4 版），高嶋修太郎・伊藤義彰（編集），診断と治療社，2024							
参考書							
ISBN-9784525248512, 脳卒中病態学のススメ，下畑享良（編集），南山堂，2018							
準備学習（予習・復習等）							
関連分野の文献を読み、内容を簡潔に発表できるようにまとめておく。 発表後、指摘された点について復習する。							
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連							
卓越した研究成果をあげ、脳卒中の深い学識を獲得する。							
注意事項・メッセージ							
毎回発表を行うか、最低 1 回以上質問・コメントを行うこと。							